

福山市駅地下送迎場と福山市営駅南口駐車場の 地下接続通路新設等の実現性

2023年（令和5年）2月8日

福山市 建設局 福山駅周辺再生推進部 福山駅周辺再生推進課

1. 地下接続通路（駅南口駐車場から地下送迎場への接続）

（1）技術的な検討結果

① 既存構造物

構造は送迎場の出入り口と同じ構造形式（箱型函渠）が有力であり、接続部の既存施設の躯体を補強することにより、構造上の安全性を確保できるため、接続は可能と考えられる。

② 遺構

資料から遺構（石垣）の位置がある程度想定できることから、遺構の位置に当たらないルートとすることで、遺構に影響を与えずに接続することが可能と考えられる。

③ 地下インフラ

多数の地下インフラが存在するものの、大規模な移設は必要とならない。一部のインフラについては、吊防護などの対応をすることによって、供用させながらの施工が可能と考えられる。

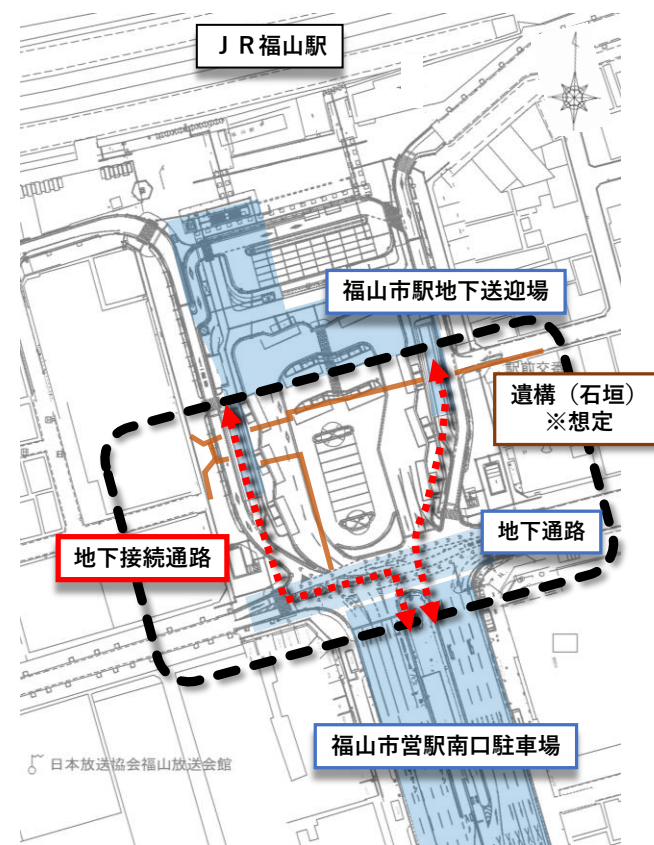
（2）想定される費用

- 地下接続通路本体、仮設、既存施設撤去の工事費用は、「約20億円」と想定される。
- 地上施設の移設や交通の切り回し、既存施設（本体・設備等）の補強・補修、新施設の設備等に係る費用は、詳細な設計により、追加で積算する必要がある。

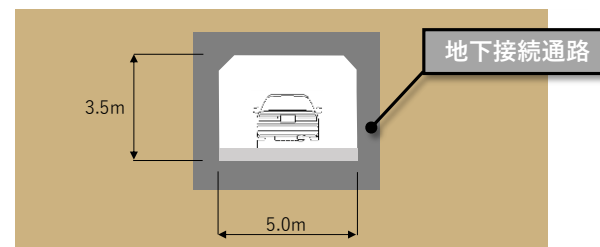
（3）今後の検討内容

- 駅南口駐車場の現行基準での老朽度及び耐震性の確認並びに補強や改修工事の検討（竣工から40年以上経過）
- 交通の利便性確保に向けた地下構造物内の車両動線の検討及び周辺施設への接続を含む歩行者動線の検討
- 既存施設のレイアウトや設備改修の検討 など

●地下接続通路のルート（イメージ）



●地下接続通路の構造形式のイメージ（箱型函渠）



2. 北西出口（地下送迎場から北西方向への出口新設）

（1）技術的な検討結果

① 既存構造物

構造は送迎場の出入り口と同じ構造形式（箱型函渠＋U型擁壁）が有力であり，接続部の既存施設の躯体を補強することにより，構造上の安全性を確保できるため，接続は可能と考えられる。

② 遺構

施工範囲には遺構（石垣）が存在しないと考えられるため，遺構への影響はない。

③ 地下インフラ

多数の地下インフラが存在するものの，大規模な移設は必要とならない。一部のインフラについては，移設などが必要になると考えられる。

（2）想定される費用

- 北西出口本体，仮設，既存施設撤去の工事費用は，「約3億円」と想定される。
- 地上施設の移設や交通の切り回し，既存施設（本体・設備等）の補強・補修，新設施設の設備等に係る費用は，詳細な設計により，追加で積算する必要がある。

（3）今後の検討内容

- 北西出口を新設したとしても，入口が駅南口駐車場に限定されることや地下構造物内の車両動線が複雑になることから，地上での通過に比べ，利便性が低下することが分かった。そのため，駅前広場西側道路の代替機能に関しては，三之丸町周辺の道路再編を含めて検討する。

●北西出口のルート（イメージ）

